

ニュースレター

2019年 4月

uCustoms システムの導入

背景

Sistem Maklumat Kastam (以下「SMK」)は、輸出入品の税関申告のための現行のオペレーティングシステムです。技術の現代化の取り組みの中で、王立マレーシア税関(以下「税関」)は、SMKを、シングルウィンドウ(手続きが一つの窓口で完結するもの)で完全に一元化されたエンドツーエンドのシステムである、ユビキタス税関システム(別名 uCustoms)に置き換えようとしています。uCustoms は数年にわたり作業が進行してきましたが、その完了に向けて状況が進展しつつあることから、uCustoms の進捗状況や事業者にとってどのような影響があるのかについてお知らせします。

For further information, please contact:

Adeline Wong

Partner
+603 2299 7880
adeline.wong@wongpartners.com

Ivy Tan

Associate
+603 2299 6505
ivy.tan@wongpartners.com

Kelvin Hong

Associate
+603 2299 6446
kelvin.hong@wongpartners.com

日本語でのお問い合わせは、井上洋子まで:

Yoko Inoue (井上 洋子)

+65 6434 2605
yoko.inoue@bakermckenzie.com

SMKとuCustomsの展望

1. 一元化されたエンドツーエンドの通関手続ソリューション

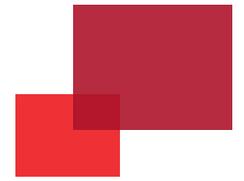
現在、SMKによって税関申告が処理されていますが、SMKは、完全にオートメーション化又は一元化されたシステムではありません。税関申告はSMKを通して行われている一方、その他の輸出入関連の手続き(許可証発行機関からの輸出入許可証の取得、原産地証明書の申請など)はSMKで一元化されておらず、これらの機能の一部は、SMKとは独立して運営されている第三者のサービスプロバイダーのDagangNetに外部委託されています。

uCustomsシステムは、エンドツーエンドで関税関連手続に対応できる包括的プラットフォームの提供を目的としています。すべての関税関連の申請及び申告が1つのシステム上で処理されるため、輸出入取引についての通関処理時間の短縮、効率性、簡易性、手続きの一貫性が高まることとなります。完全導入後は、輸出入許可証の申請、戦略貿易法(Strategic Trade Act)関連の許可、関税受付、原産地証明、並びに関税及び税金の支払いは、シングルウィンドウとしてのuCustomsプラットフォームを通して行われることが予定されています。

2. ユーザーにとっての使いやすさと透明性の強化

uCustomsの構築における重要な要素は、ユーザーにとって、システムの使いやすさが強化されることです。この実現のため、uCustomsシステムは、下記の特性を備えています:

- 24時間・週7日無休で作動します。
- 無料で提供されます。
- ウェブベースのプログラムとして様々なデバイスから簡単に利用することができます。
- 輸出入通関手続の関係者すべてがアクセスすることができます。事業者は、uCustoms上でユーザーとして登録することができ、物品の税関への到着(船



船運航者による積荷目録の提出及び税関申告を含む)から、適用関税及び税金の支払い、並びに税関からの物品の撤去まで、あらゆる段階の関税上の物品の動きを追跡することができます。

上記により、uCustoms は関税手続における透明性を強化し、その結果、詐欺や不正行為の発生リスクを減少させると予想されます。

3. 自己申告システムへのシフト

uCustoms 経由の通関及び課税を管理するため、4 つの指定された戦略センター (Strategic Centres) が設置されます。それぞれの機能は次のとおりです：

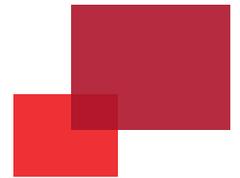
- **ナショナル・ターゲティングセンター (NTC)** : 高リスクの船舶、積荷及び乗客のリスクマネジメント、プロファイリング及びターゲティングを行います。
- **ナショナル・クリアランスセンター (NCC)** : 中高リスクの申告処理とともに、低リスクの申告通関及び課税を取り扱います。
- **税関検査エリア (CEA)** : 特別機関内委員会 (Special Inter Agency Taskforce) が管理する、すべての入口及び出口の貨物通関検査を行う複合施設です。
- **税関コールセンター (CCC)** : ヘルプデスクとして機能し、uCustoms ユーザーと事業者のコミュニティをサポートします。

上記の戦略センターは税関本部に置かれ、積荷の物理的な検査を行う CEA 職員以外には、限定的な税関役員のみが国の港に配置されることになると理解されています。大部分の通関手続は、国境における税関の物理的な検査を行うことなく、本部を通して電子的方法により処理・課税が行われているため、申告納税方式へシフトされることが見込まれています。これにより、税関は、主に、提出された船積書類に基づいて輸出入業者が行った申告を処理するため、処理が迅速になり、恐らく輸入事後調査により集中できるようになります。

uCustoms 導入のスケジュール

昨年発行された第 11 次マレーシア計画の中間レビューによれば、uCustoms の完全導入は、2019 年前半が目標とされています。システムの複雑さから、これまで uCustoms の完全導入は何度となく遅延してきましたが、uCustoms の試験導入は既に始まっており、導入の範囲も徐々に拡大しています。2019 年 3 月 5 日以降、クラン港における輸出入の税関申告は、所定の例外に該当する場合を除き (所定の例外とは、LCL 貨物 (コンテナ 1 本に満たない小口貨物)、優遇課税率や関税・租税の免除の対象品、又は輸出入許可証又は免許の対象品等をいいます)、uCustoms によって提出されることが期待されています

税関は、事業者にも本格的な実施に備え、uCustoms への登録を要請し、uCustoms の実施に関する知識を事業者にも広めるためのトレーニングを積極的に提供しています。



結論

uCustoms システムの導入は非常に歓迎すべきものであり、その理由としては、予想される効果が広範にわたり、一貫した合理化された手続きを含んでいるとされ、ユーザーにとって使いやすく、クロスボーダーな時間と経費の削減となり、透明性が向上することをあげています。また、uCustoms システムは、マクロ規模で、マレーシアでの事業展開のしやすさ、トレーディングハブとしてのマレーシアの競争力や魅力を向上させるものでもあります。

マレーシアの国家的シングルウィンドウである uCustoms は、完全導入後は、最終的に ASEAN 諸国すべての国家ウィンドウを統合することが想定されている、ASEAN のシングルウィンドウとリンクされることが予想されます。これにより、ASEAN 経済界のイニシアチブの実現において、ASEAN 内の輸出入の関税手続きがさらに簡易かつスムーズになると考えられます。

www.wongpartners.com

Wong & Partners
Level 21
The Gardens South Tower
Mid Valley City
Lingkaran Syed Putra
59200 Kuala Lumpur